



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年7月29日

上場取引所 東 名

上場会社名 トヨタ紡織株式会社

コード番号 3116 URL http://www.toyota-boshoku.com

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 石井 克政

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岩森 俊一 TEL (0566) 26-0313

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	324,728	△2.7	15,986	28.0	17,175	21.8	8,422	△6.7
28年3月期第1四半期	333,663	8.4	12,488	69.5	14,102	108.8	9,027	162.2

（注）包括利益 29年3月期第1四半期 △1,593百万円（－％） 28年3月期第1四半期 10,079百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	45.37	45.36
28年3月期第1四半期	48.70	48.68

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	668,316	236,614	29.1
28年3月期	725,895	243,146	27.3

（参考）自己資本 29年3月期第1四半期 194,148百万円 28年3月期 197,816百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
29年3月期	—				
29年3月期（予想）		18.00	—	18.00	36.00

（注）直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	650,000	△6.2	28,000	0.9	28,000	△6.7	12,000	△32.2	64.64
通期	1,320,000	△6.8	57,000	△4.2	57,000	1.6	30,000	669.1	161.60

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	187,665,738株	28年3月期	187,665,738株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	2,021,043株	28年3月期	2,047,337株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	185,626,875株	28年3月期1Q	185,357,949株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は平成28年7月29日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期の連結業績につきましては、売上高は、アジア・オセアニア地域などの増産はありましたが、為替の影響などにより、前年同四半期連結累計期間（以下、前年同期）に比べ89億円（△2.7%）減少の3,247億円となりました。利益につきましては、製品価格変動や為替の影響などによる減益要因はありましたが、商品力を向上させた新製品の増産による影響や合理化などの増益要因により、営業利益は、前年同期に比べ34億円（28.0%）増加の159億円、経常利益は、前年同期に比べ30億円（21.8%）増加の171億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、税負担の増加などにより、前年同期に比べ6億円（△6.7%）減少の84億円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本

当地域におきましては、熊本地震の影響による生産台数の減少などにより、売上高は、前年同期に比べ51億円（△3.1%）減少の1,645億円となりました。営業利益につきましては、減産の影響と競争力強化のための先行投資の影響などにより、前年同期に比べ15億円（△27.3%）減少の41億円となりました。

②北中南米

当地域におきましては、為替の影響などにより、売上高は、前年同期に比べ73億円（△9.1%）減少の730億円となりました。営業利益につきましては、北米での車種構成の変化や、合理化の効果などにより、前年同期に比べ25億円（297.5%）増加の33億円となりました。

③アジア・オセアニア

当地域におきましては、中国やタイなどでの増産の影響などにより、売上高は、前年同期に比べ10億円（1.3%）増加の815億円となりました。営業利益につきましては、車種構成の変化や主力車種のモデルチェンジに伴う増産の影響などにより、前年同期に比べ26億円（43.0%）増加の87億円となりました。

④欧州・アフリカ

当地域におきましては、生産台数の増加はありましたが、為替の影響などにより、売上高は、前年同期に比べ7億円（△2.9%）減少の240億円となりました。営業損失につきましては、増産の影響はありましたが、新製品の生産準備費用の増加などにより、前年同期に比べ2億円増加の3億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産は、売上債権の減少などにより、前連結会計年度末に比べ575億円減少の6,683億円となりました。

一方、負債は、前連結会計年度末に比べ510億円減少し、4,317億円となりました。主な要因は、短期借入金の減少などによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ65億円減少し、2,366億円となりました。主な要因は、円高の進行に伴う為替換算調整勘定の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の予想を、売上高6,500億円、営業利益及び経常利益280億円、親会社株主に帰属する四半期純利益120億円、また通期の予想を、売上高1兆3,200億円、営業利益及び経常利益570億円、親会社株主に帰属する当期純利益300億円と見込んでおり、2016年4月28日の公表値を変更していません。

なお、為替レートにつきましては、第2四半期以降1USD=100円、1EUR=110円、1THB=2.9円、1CNY=15.5円を前提としております。

上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当社及び一部の連結子会社は、税金費用について、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2016年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	168,186	152,983
受取手形及び売掛金	188,886	168,843
有価証券	5,000	5,000
商品及び製品	8,475	8,101
仕掛品	6,083	5,938
原材料及び貯蔵品	30,275	27,835
その他	46,797	42,891
貸倒引当金	△663	△549
流動資産合計	453,041	411,044
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	83,997	79,879
機械装置及び運搬具(純額)	82,307	76,134
その他(純額)	47,562	44,023
有形固定資産合計	213,867	200,037
無形固定資産		
のれん	6,403	5,987
その他	1,400	1,642
無形固定資産合計	7,804	7,630
投資その他の資産		
投資有価証券	15,955	15,307
その他	35,396	34,466
貸倒引当金	△169	△169
投資その他の資産合計	51,182	49,604
固定資産合計	272,853	257,272
資産合計	725,895	668,316

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2016年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	178,714	165,603
短期借入金	48,538	30,109
1年内返済予定の長期借入金	23,881	22,873
未払法人税等	7,168	6,062
製品保証引当金	7,238	3,541
役員賞与引当金	248	96
事業整理損失引当金	23,019	9,370
資産除去債務	78	78
その他	60,320	63,510
流動負債合計	349,208	301,245
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	52,505	48,950
退職給付に係る負債	54,471	54,503
役員退職慰労引当金	311	281
資産除去債務	250	218
その他	6,001	6,503
固定負債合計	133,539	130,457
負債合計	482,748	431,702
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,400	8,400
資本剰余金	8,691	8,689
利益剰余金	199,475	205,113
自己株式	△4,050	△3,998
株主資本合計	212,515	218,203
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,507	1,198
為替換算調整勘定	△3,125	△12,418
退職給付に係る調整累計額	△13,080	△12,835
その他の包括利益累計額合計	△14,699	△24,054
新株予約権	72	58
非支配株主持分	45,257	42,407
純資産合計	243,146	236,614
負債純資産合計	725,895	668,316

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)
売上高	333,663	324,728
売上原価	300,429	287,839
売上総利益	33,233	36,888
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	8,367	8,467
その他	12,377	12,434
販売費及び一般管理費合計	20,745	20,901
営業利益	12,488	15,986
営業外収益		
受取利息	353	311
為替差益	1,589	—
持分法による投資利益	231	—
雑収入	—	1,219
その他	1,168	2,125
営業外収益合計	3,342	3,656
営業外費用		
支払利息	399	635
為替差損	—	114
デリバティブ評価損	—	901
持分法による投資損失	—	173
その他	1,328	641
営業外費用合計	1,728	2,467
経常利益	14,102	17,175
税金等調整前四半期純利益	14,102	17,175
法人税等	3,871	6,555
四半期純利益	10,231	10,619
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,204	2,197
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,027	8,422

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)
四半期純利益	10,231	10,619
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	134	△308
為替換算調整勘定	△489	△11,967
持分法適用会社に対する持分相当額	26	△191
退職給付に係る調整額	175	254
その他の包括利益合計	△152	△12,213
四半期包括利益	10,079	△1,593
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,907	△933
非支配株主に係る四半期包括利益	1,172	△659

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北中南米	アジア・ オセアニア	欧州・ アフリカ	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	154,144	79,542	75,437	24,538	333,663	—	333,663
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,555	882	5,062	217	21,718	△21,718	—
計	169,700	80,425	80,499	24,756	355,381	△21,718	333,663
セグメント利益又は損失(△)	5,663	848	6,119	△113	12,518	△29	12,488

(注) 1 セグメント利益の調整額△29百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北中南米	アジア・ オセアニア	欧州・ アフリカ	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	152,449	72,152	76,444	23,680	324,728	—	324,728
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,072	927	5,085	358	18,444	△18,444	—
計	164,522	73,079	81,530	24,039	343,173	△18,444	324,728
セグメント利益又は損失(△)	4,115	3,374	8,748	△345	15,891	94	15,986

(注) 1 セグメント利益の調整額94百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。